



東京工芸大学・風工学共同研究拠点・研究集会（2023年3月20日）のご案内

2022年度 新型コロナウイルス（COVID-19） 感染対策研究課題 合同研究集会

新型コロナウイルス（COVID-19）感染対策に関する風工学研究拠点の共同研究課題として、今年度は、以下の3つが行われました。

「隔離室ドア開閉時の浮遊飛沫漏出を防止するための条件」林 基哉（北海道大学）、「呼吸器エアロゾル粒子への曝露様式に基づいた感染リスクおよび対策効果の評価」尾方 壮行（東京都立大学）、「採風窓による自然換気経路の最適計画による換気効率の向上と感染症対策への適用」樋山 恭助（明治大学）。

本研究集会では、上記の3つの研究課題に関する今年度の研究成果を発表致します。換気や気流などによる新型コロナウイルス感染防止対策について関心のある方に多数参加していただければ幸いです。

と き： 2023年3月20日（月）13:00～16:00

ところ： オンライン開催（Zoom）

問合先： 東京工芸大学 風工学研究拠点事務室

電話:046-242-9658 E-mail : jurc_office@arch.t-kougei.ac.jp

参加費： 無料

申込方法： 出欠フォームよりお申込み下さい。（前日まで、当日参加の場合は風工学研究拠点事務室までメールにてご連絡ください）

申し込みフォーム <https://forms.gle/7D7uoiumEZotk5Fs8>

プログラム（案）

- | | |
|---------------|---|
| 13:00 - 13:05 | 開会挨拶 |
| 13:05 - 13:30 | エアロゾル拡散実験に基づく感染リスク換算
菊田 弘輝（北海道大学 准教授） |
| 13:30 - 13:55 | 呼吸器エアロゾル粒子の発生と曝露に関する実験的研究
尾方 壮行（東京都立大学 助教） |
| 13:55 - 14:05 | 休憩 |
| 14:05 - 14:30 | 採風窓による自然換気経路の最適計画による換気効率の向上
樋山 恭助（明治大学 教授） |
| 14:30 - 14:45 | 新型コロナ前後における大規模総合大学キャンパスのエネルギー使用実態調査
上出 健（明治大学大学院 大学院生） |
| 14:45 - 15:10 | 隔離室ドア開閉時の浮遊飛沫漏出状況と家庭内陰圧室の成立条件
山本 佳嗣（東京工芸大学 准教授） |
| 15:10 - 15:50 | 質疑応答・ディスカッション |
| 15:50 - 16:00 | 閉会挨拶 |